



平成 17 年 11 月 8 日

会 社 名 株式会社フライトシステムコンサルティング
代表者の役職氏名 代表取締役社長 片 山 圭 一 朗
(コード番号：3753 東証マザーズ)
問 い 合 せ 先 広 報 担 当 金 (こん) 浩 樹
福 原 亜 都 子
電 話 番 号 03 - 3440 - 6100 (代)

フライトシステムコンサルティング 国産初の新デジタルシネマ上映システム「**Hommage** (オマージュ)」発表 ～ 最新の圧縮技術、JPEG2000 のデコーダ搭載

15 分の 1 の圧縮比で、フィルム映写並みの高いクォリティの映像投影を実現！ ～

株式会社フライトシステムコンサルティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：片山 圭一朗、以下当社）は、最新の画像圧縮技術JPEG2000を利用した国産初のデジタルシネマ上映システムであるデジタルシネマブロードキャスター「**Hommage** (オマージュ)」を2006年1月から発売致します。

フライトシステムコンサルティングは、一つのコンテンツを映画、テレビ放送（HD/SD、衛星/地上波、デジタル/アナログ）、ネット配信、携帯電話配信等、さまざまなメディアで容易に利用できるようにする「デジタル・コンテンツ・マネジメント」の分野で多くの実績を持ち、さらにデジタル映像分野の拡大を目指しています。今回発表するデジタルシネマブロードキャスター「**Hommage** (オマージュ)」(製品名：Hommage Digital Cinema Broadcaster DCD-JP2000) は、ハリウッドがデジタルシネマ用の圧縮規格に選択したJPEG2000で圧縮されたコンテンツを、映画館での大スクリーン投影に十分に耐える高画質で再生するためのJPEG2000デコーダとコンテンツを管理するリムーバブル・ストレージを組み合わせて搭載したデジタルシネマ上映システムです。

現在日本では約50ヶ所のデジタルシネマシアターが稼動していますが、いずれもデジタルシネマ上映システムは高価な米国製の製品を用いており、映画館としての投資額は専用のシネマプロジェクタと合わせ2,000～3,000万円にもなっています。当社では、低価格な松下電器産業のデジタルシネマ向けプロジェクタと組み合わせ、低価格であるにもかかわらず、7.1ch オーディオに対応しており、リッチで迫力満点なサウンドを楽しむことができ、500万円前後の投資でデジタルシネマシアターが開設出来る製品となるものです。

また本製品は単に価格面での特長だけではなく、米国製の製品にはない数々の特長を持っています。

< 「**Hommage** (オマージュ)」 独自の特長 >

・日本の地上デジタル放送/BSデジタル放送のHD規格に準拠した映像規格を採用。現在日本の邦画の半数以上はテレビ局主導で制作されています。放送と映画が1つのフィールドで運用されるよう

になってきており、日本のHD映像に完全準拠の本システムは、放送界と映画界を結び付ける最良のデジタルシネマシステムです。

・映画の本編の前後に流れるシネアドに対応しています。従来のシステムでは、本編はデジタルシネマプレイヤーで、シネアドは別途PCを用いて運用されています。シネアド機能を搭載したデジタルシネマプレイヤーは世界初です。従来の映写フィルムによるシネアドでは頻繁に内容を更新することは困難でしたが、本システムのオプション機器として発売予定の「キャプション・クリエータ」（製品名：Homage Caption Creator DCB-JP2000C）を使用することによって、新聞の折り込みチラシなどと同様、自由に、タイムリーに広告内容を更新していくことができます。広告業界にとっては新しい情報の売り場が出来る事になり、またデジタルシネマを導入する映画館から見れば収益の向上につながります。

・コンテンツの暗号化に対応していますが、従来の機器が単なる盗用防止のためだけの機能だったのに対し、本システムは単に盗用防止のためだけでなく、配給元で上映可能期間、上映可能回数などを制御できるよう、コンテンツの暗号鍵にそれら再生許諾情報を入れており、配給元で正確に収益管理が可能になります。

・「キャプション・クリエータ」（Homage Caption Creator DCB-JP2000C）により、簡単に字幕が作成できます。従来の米国製デジタルシネマプレイヤーと違い、確実かつ低コストに字幕の制作、運用が可能になります。

<価格と販売方法>

デジタルシネマブロードキャスター「Homage（オマージュ）」（製品名：Homage Digital Cinema Broadcaster DCD-JP2000）は、松下電器産業製のプロジェクタと合わせ500万円程度の価格を予定しております。本製品は2006年年初より当社グループ企業である（株）山下電子設計を通じて出荷開始する予定です。来年度、50セットの販売を見込んでおります。

なお、本システムは（株）山下電子設計（本社・神奈川県厚木市、代表取締役：山下 靖）、（株）プロメディアワークス（本社：北海道札幌市豊平区、代表取締役：高津 譲次）との協業により開発されています。山下電子設計はJPEG2000関連を担当し、プロメディアワークスはシネアドおよび字幕部分を担当しています。

※山下電子設計は2006年1月に当社の100%子会社になる予定です。今後山下電子設計は当社グループの中でデジタルシネマに関するコアカンパニーとなってまいります。

またプロメディアワークスとフライトシステムコンサルティングは、2005年10月4日に業務提携を締結しております。

<JPEG2000について>

JPEG2000は次世代のデジタル映像の圧縮技術として着目されています。高品位な解像度で圧縮しておく、後で取り出す際に利用する側が自由に解像度を定めることができるため、デジタルアーカイブ資産としての資産価値を大きく高めるものです。また1コマ1コマが独立した画像として保存されるため、防犯映像などの証拠性としての用途も期待されています。今後、デジタルシネマを始めとし、医療映像や防犯映像など、様々な分野でJPEG2000の技術が活用されていくものと考えられています。

<株式会社フライトシステムコンサルティングについて>

株式会社フライトシステムコンサルティングは、放送系やマルチメディア系の分野に向けシステムコンサルティング、システムインテグレーション、製品の販売をベースにコンテンツ資産をより有効に活用するためのデジタル・コンテンツ・マネージメント(DCM)を行っているソリューションプロバイダです。メディア系の業務に精通し、また大容量コンテンツを扱うためのストレージ技術、ネットワーク技術、データベースノウハウを駆使した高度かつ高信頼性なシステム構築能力を持ち、顧客ニーズを的確に実現する事を目指しております。2004年11月に東証マザーズに上場いたしました。

フライトシステムコンサルティングに関する詳細情報は、以下のWebサイトでご参照いただけます。

<<http://www.flight.co.jp>>

以上

この件に関するお問い合わせ先

株式会社フライトシステムコンサルティング

広報担当： 金（こん）浩 樹、 福原 亜都子

Tel : 03-3440-6100（代表）、Fax: 03-5791-2241

E-mail: info@flight.co.jp